



第2号
令和8年4月30日

国際教養科主任
水野豪人

【Unity】国際教養科の「誇り」を胸に、最高のスタートを！

4月24日の国際教養科集会、お疲れ様でした。全学年が初めて一堂に会したあの場所には、私たちの学科にしかない「熱気」が満ち溢れていました。

集会の冒頭、私から皆さんに3つのゴールを提示しました。復習を兼ねて、今年度常に心に留めておいてほしい言葉を再確認します。

Unity(団結): 学年を超え、お互いに助け合える学科を目指そう！

Improve English more and more: 英語で考え、発信する。安易に日本語を使わない！

Look at the world: 目の前のことだけでなく、世界で起きている問題に目を向ける。

当日の皆さんの姿は、このゴールを体現していました。特に驚いたのは、グループ交流が英語中心でうまく進められていたからです。3年生のリードが素晴らしく、ほとんど日本語に頼ることなく会話を進めている様子に、最上級生としての強い覚悟を感じました。2年生もこの1年間で驚くほど英語力を伸ばしましたね。語彙も表現も豊かになり、頼もしい先輩へと成長しました。そして1年生。皆さんのポスターの完成度の高さ、そして何より積極的に英語を話す生徒が多いこと、また発音が上手な生徒が多いことに驚きました。

教養科には、英語に対する情熱を共有できる最高の仲間がいます。3年生の背中を見て、1・2年生が追いつける。この素晴らしい循環こそが私たちの強みです。この「やる気の火」を絶やさず、失敗を恐れずに挑戦し続けてください。私たち教員も、皆さんの熱意を全力でサポートします！

1年生の振り返りシートによると、「この交流会を通じて、教養科の学びのモチベーションが上がりましたか？」という質問に対して、「とても上がった」が80%、「やや上がった」が20%となっていました。また、「2,3年生は、会話をリードしてくれていると感じましたか。」との質問には、83.3%が「すごく感じた」、16.7%が「まあ感じた」と答えていました。また、3年生のプレゼンについても、「教養科の行事がとても楽しそうでこれからが楽しみ」「英語をすらすらしゃべっていてすごいと思った。」「様々な活動があり、ワクワクした。」など、肯定的な意見が大半を占めていました。センパイたち、よく頑張りましたね！

これらを見る限り、集会在1年生の学びのよいスタートになったようです。5月14日(木)にはよいよ国際理解のつどいがあります。2,3年生全員がSDGSのプレゼンをする教養科の一大イベントです。2,3年生は準備大変ですが、がんばってください。また、各プレゼンには質疑応答があります。決勝では審査員のALT2名から2つの質問が来ます。しっかり応答できるよう、想定される質問を自分で書き出し、答える準備をしておきましょう。

